

ブロック塀等倒壊危険度調査の中間報告について

今年度、業務委託により実施している「ブロック塀等倒壊危険度調査」についての中間報告を行う。

1 調査目的

本調査は、避難道路、通学路及び一般道路沿いにあるブロック塀等の実態調査を行い、耐震化事業の拡充・推進及び所有者に対しての助言・指導等の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査概要

（1）調査対象

区内の避難道路、通学路及び一般道路（行き止まり道路を除く。）

（2）調査内容

①所在地、道路種別、道路幅員、塀の構造、塀の高さ

②基本性能の診断

- ・コンクリート基礎の有無、高さの増積み、使用状況、塀の位置、塀の高さ
- ・透かしブロックの有無、鉄筋の有無、控え壁・柱の有無、笠木の有無
- ・フェンスの有無

③壁体の外観診断

- ・傾きの有無、ひび割れの有無、損傷の有無

④壁体の耐力診断及び保全状況の診断

- ・ぐらつき等の判定

3 調査結果

（1）区内のブロック塀等の調査件数

- ・調査対象道路において25,682件
- ・街区別は別表1を参照

（2）危険度の高いブロック塀等の概要

- ・街区別にまとめたので別表2を参照
- ・集計結果によれば、北部方面の住宅地域に集中している。

4 調査期間中の対応

委託事業者との定例会において、報告を受けた特に危険と思われる案件については、職員が再確認を行い、必要な訪問指導や所有者に対しての助言、適切な維持管理を依頼する文書の発送を行っている。

5 今後の予定

- 本調査は、3月までにデータを詳細に分析するとともに、経過観察及び指導に活用するためデータベース化を行う。
- これまでも、老朽危険家屋や空き家及びブロック塀等の助言、指導を年間300件程度取り組んでいる。今後は、住宅密集地域で災害危険度の高い大和町、若宮、野方地域を中心に3年を目途に重点的に啓発・指導・改善を行っていく。
- ブロック塀等の除却等の事業において国及び東京都の補助金を活用するため、中野区耐震改修促進計画において避難道路及び通学路の指定を行う予定である。
- 最終報告については、閉会中又は定例会中の建設委員会で行う予定である。

別表1 街区別調査件数

町名	調査件数	町名	調査件数
南 台	1, 3 2 7	江原町	8 6 2
弥生町	1, 2 4 9	江古田	9 2 9
本 町	1, 4 2 5	丸 山	5 6 2
中 央	1, 4 4 4	野 方	1, 9 9 9
東中野	1, 1 1 9	大和町	2, 0 2 1
中 野	1, 4 7 6	若 宮	1, 6 3 3
上高田	1, 7 9 0	白 鷺	1, 0 0 1
新 井	9 5 6	鷺 宮	2, 0 6 3
沼 袋	1, 4 1 7	上鷺宮	1, 9 0 3
松が丘	5 0 6	合計調査件数	2 5, 6 8 2

別表2 危険度の高い（危険度の判定基準1及び2）ブロック塀等の街区別件数（占有割合）

町名	調査件数	町名	調査件数
南 台	6 5 (4. 8 9%)	江原町	2 9 (3. 3 6%)
弥生町	4 9 (3. 9 2%)	江古田	3 0 (3. 2 2%)
本 町	3 3 (2. 3 1%)	丸 山	5 0 (8. 8 9%)
中 央	5 0 (3. 4 6%)	野 方	1 1 6 (5. 8 0%)
東中野	1 6 (1. 4 2%)	大和町	1 9 6 (9. 6 9%)
中 野	3 2 (2. 1 6%)	若 宮	1 1 0 (6. 7 3%)
上高田	1 0 2 (5. 6 9%)	白 鷺	8 7 (8. 6 9%)
新 井	3 7 (3. 8 7%)	鷺 宮	1 2 0 (5. 8 1%)
沼 袋	7 5 (5. 2 9%)	上鷺宮	8 2 (4. 3 0%)
松が丘	2 5 (4. 9 4%)	合計調査件数	1, 3 0 4 (5. 0 7%)

※ 現在、報告を受けた危険度の高いブロック塀等の所有者に対して、職員が再確認を行い適宜、助言及び指導を行っている。

※ 危険度の判定基準

ランク	状態
1	著しく危険
2	危険
3	仕様規定不適合（建築基準法）
4	所見なし